

平成28年度第1回きたかみ都市ブランド推進市民会議を開催

平成28年度第1回きたかみ都市ブランド推進市民会議は6月27日、市民交流プラザで行われました。

同会議は、市民と協働でシティプロモーションを推進するために開催。本年度の活動テーマは、北上市の魅力を生かすための「ブランドメッセージ」案の策定です。

会議には、産業・金融・NPO・行政などの各種団体から、委員を委嘱された24人が参加。各委員が市の魅力を挙げ、その魅力を巡るツアーを企画するワークショップが行われました。

本年度は全4回の市民会議を開催し、年内のブランドメッセージ決定を目指します。また、ブランドメッセージ決定後には、同メッセージのイメージロゴを公募する予定です。

市民会議委員の所属団体など 50音順

- (一社)岩手県建築士会北上支部
- (二社)北上市国際交流協会



ワークショップで市の魅力について話し合う委員

- NPO法人きたかみ観光NEXT
- NPO法人芸術工房
- きたかみ子育てネット
- 北上コロッケまるっとLab
- 北上コンピュータ・アカデミー
- 北上市自治組織連絡協議会
- 北上商工会議所
- 北上信用金庫
- 北上ネットワーク・フォーラム
- 北上4日クラブ
- (公社)北上青年会議所
- (福)北上市社会福祉協議会
- Machibun Marche実行委員会
- 一般公募市民(5人)、市職員(5人)

平成28年度第1回北上市地域公共交通会議を開催

平成28年度第1回北上市地域公共交通会議は4日、生涯学習センターで行われました。市は「あじさい都市」創造に向け、北上市都市計画マスタープランにおいて「地域間の交流による人・モノ・情報の連携軸の形成」を方針の一つに掲げています。この方針を進める上で重要になるのは、都市全体を支える「都市拠点」と生活を支える「地域拠点」をつなぐ公共交通ネットワークの確立です。本年度、同会議では「地域にとって望ましい

公共交通のすがた」を明らかにするとともに、医療、福祉、観光などのまちづくり施策と連動しながら、公共交通のマスタープランとなる「(仮称)北上市地域公共交通網形成計画」の策定を目指します。

本年度1回目の同会議には、市や警察、交通事業者などから20人が出席。計画の骨子や策定までのスケジュールなどを確認しました。今後は、公共交通機関の利用状況調査や各地区懇談会などを実施し、市内の公共交通ネットワーク

7年連続で住みよさランキング県内1位

全国の都市を対象にした「住みよさランキング2016年版」(東洋経済新報社)が発表され、東日本震災の影響でランキングが公表されなかった平成23年を除いて北上市が7年連続で県内1位になりました。

「住みよさランキング」は、同社がさまざまな分野の公的

の現状と需要を把握。その内容を基に計画の素案を策定します。その後、素案に対するパブリックコメントなどを行い、幅広い意見を反映させた計画の完成を目指します。



会長として出席者にあいさつする高橋市長

す。

北上市は昨年と同様、人口一人当たりの小売業年間販売額などで算出される「利便度」(全国93位)と都市公園面積などで算出される「快適度」(同259位)が評価され、813都市中163位になりました。また、人口一人当たりの事業所数や製造品出荷額など8指標から算出される「民力度ランキング」でも、全国95位と高評価を得ました。

統計を基に、現状の各都市が持つ「都市力」を安心度、利便度、快適度、富裕度、住居水準充実度の5つの観点で、15指標から偏差値を算出し、その単純平均を総合評価としてランキングしたものです。同ランキングは平成5年から、23年以外毎年公表されていて、今年で23回目となりま

まちづくりチャレンジ補助金採択結果

市民公募型協働事業補助金（まちづくりチャレンジ補助金）の公開プレゼンテーションと審査会は8日、生涯学習センターで行われました。

市と認定特定非営利活動法人きたかみ市民活動基金は「協働によるまちづくり」実現のため、地域社会の課題解決や活性化を図る市民活動、コミュニティ活動、企業の地域貢献活動に同補助金を交付しています。本年度は、新規活動を対象とする「まちづく

りスタート型」と「まちづくり推進新規型」にそれぞれ2団体、これらを発展させた活動を対象とする「まちづくり推進発展型」に1団体が応募。このうち、書類とプレゼンテーションで審査される「まちづくり推進新規型」および「まちづくり推進発展型」に応募した3団体が、公開プレゼンテーションを行いました。その後行われた審査会では、市採択分4団体、同法人採択分1団体の事業を決定し

ました。

市採択事業

- 障害のある人、ない人も一緒に楽しくカレーカフェの会事業（医療法人社団敬和会）
- 3ちゃん防災事業（江釣子16区自治会）
- こどもアートサポート事業（特定非営利活動法人芸術工房）
- 父親学級番外編く性教育今昔物語く事業（きたかみ子育てネット）

- 認定特定非営利活動法人きたかみ市民活動基金採択事業
- 地域の絆・世代間交流事業（後藤2区体育振興会）

参議院議員通常選挙の開票結果

第24回参議院議員通常選挙の投票が7月10日、市内56カ所の投票所で行われました。開票の結果、市内の投票率（在外含む）は岩手県選出、比例代表ともに57.10%（前回は岩手県選出が3.99ポイント減、比例代表が3.98ポイント減）でした。詳細は次の通りです。

候補者名(得票順)	得票数
きどぐち 英司	24,941 票
田中 真一	16,245 票
石川 みき子	2,240 票

※比例代表は省略します。

- 当日の有権者数(在外含む) 77,645人
- 投票者数(在外含む) 44,335人

市内の避難者状況 (6月30日現在)

区市町村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市	大船渡市
世帯	2(0)	11(0)	22(-1)	17(0)	8(-1)
人数	4(0)	22(0)	36(-3)	31(0)	13(-4)

区市町村	陸前高田市	宮城県	福島県	合計
世帯	8(-1)	9(0)	9(0)	86(-3)
人数	10(-1)	15(0)	19(0)	150(-8)

※()は前月比。市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

駒ヶ岳は焼石連峰の北端、金ヶ崎町と北上市の境に位置する、標高1130mの山で

皆で祈願した。駒ヶ岳は焼石連峰の北端、金ヶ崎町と北上市の境に位置する、標高1130mの山で

6月の第2日曜日は恒例の夏油三山山開きである。夏油三山とは経塚山、牛形山そして今年登った駒ヶ岳である。朝霧も徐々に消え、絶好の登山日和の中、関係者40人程で安全祈願を行い、7時過ぎから登頂を開始する。ブナ原生林の中、残雪や水芭蕉を愛でながら初心者でも楽しく登ることができるとコースである。登り始めて2時間半、ブナの原生林を抜けると、突然視界が開け、経塚山や焼石岳、須川岳が現れ、眼下に北上平野が広がる。ここ山頂には駒形神社奥宮があり、お神酒を供えて今年一年の登山の安全を皆で祈願した。

駒ヶ岳に登る



ある。残雪が馬の形になって田植えの時期を知らせるとの言い伝えだが、その由来は5世紀半ば、胆沢平野からの勇姿を目にした関東上毛野の胆沢公が、山頂に駒形大神を勧進し「駒ヶ岳」と命名。さらには胆沢城を創建した征夷大将軍坂上田村麻呂などが崇敬して武運を祈願し、成就した事から神格が高まったようである。その後、江戸時代の南部伊達両藩の藩境を決める際に山頂の神社が起点とされたのである。

山頂では金ヶ崎側からの登山者も交えて山談議に花が咲く。今年はブナの花が全く咲かないのではばらくはクマに悩まされるとの話題に、今年の異常なクマ出没情報と自然との関わりに改めて触れる。夏油温泉では今年、ブナの森ミュージアムがオープンしている。かつて、市が保有していた、夏油温泉館を夏油温泉観光ホテルが買い取ってリノベーションした施設である。知っているようで知らないブナ林の魅力が一杯詰まっている。皆さんもぜひ立ち寄っていただき、夏油の魅力の一端に触れていただきたい。